

平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について〈藤沢市の状況〉

◇ 暴力行為の状況 (H24～H26)

小学校	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	0	0	2	2	2	2
生徒間暴力	3	3	2	3	1	3
対人暴力	0	0	0	0	0	0
器物損壊	0	0	0	0	2	14
合計件数	3件		5件		19件	

中学校	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	3	6	6	12	4	42
生徒間暴力	13	49	13	53	14	121
対人暴力	0	0	0	0	1	7
器物損壊	6	12	6	20	6	96
合計件数	67件		85件		266件	

小・中計	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	70件		90件		285件	
	70件		90件		285件	

◇ いじめの状況（H24～H26）

【いじめの定義】本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。

《小学校》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成24年度	21	17	3	0	1
平成25年度	21	17	0	1	3
平成26年度	18	9	8	1	0

《中学校》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成24年度	64	53	9	2	0
平成25年度	65	51	12	2	0
平成26年度	109	94	13	1	2

《合 計》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成24年度	85	70	12	2	1
平成25年度	86	68	12	3	3
平成26年度	127	103	21	1	2

○学校で把握したいじめの態様別件数（複数回答）

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
冷やかし・からかい 悪口・脅し文句	小	10件	13件	9件
	中	47件	39件	80件
仲間はずれ 集団による無視	小	4件	4件	4件
	中	21件	11件	9件
軽い暴力	小	4件	2件	4件
	中	6件	7件	10件
ひどい暴力	小	2件	2件	0件
	中	1件	2件	1件
金品をたかる	小	0件	2件	0件
	中	1件	3件	0件
金品を隠す・盗む 壊す・捨てる	小	1件	1件	1件
	中	2件	1件	2件
いやなことをされる いやなことをさせられる	小	2件	2件	0件
	中	4件	6件	8件
パソコンや携帯電話 による誹謗中傷	小	0件	0件	1件
	中	4件	10件	6件

◇ 不登校の状況（H24～H26）

【参 考】 不登校の定義

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくとも出来ない状況にあることをいう。
年間30日以上欠席（ただし、怠学は含み、病気や経済的な理由によるものは除く）

《小学校》

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成24年度	4		6		13		12		13		14		62	
	2	2	3	3	7	6	8	4	5	8	8	6	33	29
平成25年度	6		5		7		15		21		20		74	
	2	4	0	5	6	1	8	7	12	9	12	8	40	34
平成26年度	3		13		14		14		26		37		109	
	1	2	6	7	8	8	8	6	13	13	21	16	57	52

○不登校となったきっかけ（複数回答）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
親子関係をめぐる問題・家庭不和	20人	17人	31人
家庭の生活環境の急激な変化	5人	5人	7人
不安など情緒的混乱	23人	34人	48人
無気力	14人	13人	12人
いじめ	2人	3人	1人
いじめを除く友人関係の問題	5人	11人	13人
教員との関係	2人	4人	3人
入学・転入・進級時の不適応	1人	1人	4人
学業の不振	5人	9人	2人
病気による欠席	11人	4人	14人

○効果のあった学校の対応（複数回答）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
登校刺激（電話や迎え）を与えた	5人	9人	17人
スクールカウンセラー、相談員の対応	11人	10人	18人
活動できる場を用意	1人	2人	7人
学業や生活面での指導・援助	5人	6人	16人
保護者の協力	5人	6人	9人
保健室等の別室登校	9人	7人	12人
相談機関との連携	6人	1人	7人
教師との関係改善	9人	5人	7人
友人関係改善のための指導	4人	3人	7人
養護教諭からの専門的な指導	5人	2人	5人
児童との触れ合いを増やした	6人	3人	6人

《中学校》

	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
平成24年度	53	23	93	56	108	57	254	118
平成25年度	64	38	108	55	128	76	300	131
平成26年度	62	37	121	63	149	79	332	153

○不登校となったきっかけ（複数回答）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
親子関係をめぐる問題・家庭不和	66人	63人	61人
家庭の生活環境の急激な変化	17人	17人	16人
不安など情緒的混乱	51人	75人	88人
無気力	68人	94人	123人
いじめ	4人	12人	11人
いじめを除く友人関係の問題	56人	65人	75人
教員との関係	3人	5人	16人
入学・転入・進級時の不適応	7人	12人	7人
学業の不振・進路の不安	30人	40人	34人
病気による欠席	19人	19人	30人
遊び・非行	22人	17人	20人
意図的な拒否	11人	19人	11人

○効果のあった学校の対応（複数回答）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
登校刺激（電話や迎え）を与えた	7人	9人	14人
スクールカウンセラー、相談員の対応	12人	15人	17人
学業や生活面での指導・援助	6人	11人	12人
保護者の協力	4人	5人	10人
保健室等の別室登校	6人	12人	17人
相談機関との連携	8人	5人	9人
教師との関係改善	6人	8人	11人
養護教諭からの専門的な指導	2人	8人	8人
生徒とのふれあいを増やした	3人	6人	8人

平成26年度「児童・生徒の問題行動等調査」の結果について<神奈川県・全国の状況>

◇暴力行為の状況（対教師・生徒間・対人・器物損壊の総数）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	19（前年比 14↑）	2,179（前年比 339↓）	11,468（前年比 572↑）
中学校	266（前年比 181↑）	3,922（前年比 501↓）	35,683（前年比 4,563↓）

児童生徒1,000人あたりの発生件数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	0.8件	4.7件	1.7件
中学校	25.3件	18.6件	10.1件

◇いじめの状況（認知件数）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	18（前年比 3↓）	4,094（前年比 224↑）	122,721（前年比 3,973↑）
中学校	109（前年比 44↑）	2,445（前年比 263↓）	52,969（前年比 2,279↓）

児童生徒1,000人あたりの認知件数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	0.7件	8.9件	18.6件
中学校	10.3件	11.6件	15.0件

◇不登校の状況

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	109（前年比 35↑）	2,443（前年比 264↑）	25,866（前年比 1,691↑）
中学校	332（前年比 32↑）	6,920（前年比 101↑）	97,036（前年比 1,594↑）

児童生徒1,000人あたりの発生人数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	4.7人	5.3人	3.9人
中学校	31.6人	32.9人	27.6人